

(社) 日本建築学会九州支部 11 月常議員会議事録

日時：2011 年 11 月 18 日 (金) 14:00～

場所：九州大学建築学科会議室

出席者：藤本支部長，福田総務幹事，山口総務幹事，蜷川学術幹事，岡田学術幹事，高須会計幹事，
内山会計幹事，大谷常議員，小島常議員，穴井常議員，武田常議員，鈴木常議員，事務局 伊地知 (敬称略)

欠席者：渡嘉敷常議員

議事録作成：鈴木常議員

I. 前回議事録確認

1. 7 月常議員会議事録 (案) (穴井常議員) メールにて送付済み
2. 10 月幹事会議事録 (案) (山口総務幹事) メールにて送付済み
それぞれ承認された。

II. 報告事項

1. 本部関係報告

- (1) 9 月担当理事会報告 (藤本支部長) 資料-1, 回覧-1
支部長は招集されていないが、資料に沿って報告がなされた。
- (2) 10 月理事会報告 (藤本支部長) 資料-2, 回覧-2
10 月の理事会について、理事会議事次第に沿って以下に関する説明があった。
総合論文誌は第 10 号までで廃刊される。その他、学会ホームページを新たに開設・充実化、建築雑誌のスリム化、JAABE の現況、黄表紙の英文化、論文集の電子ジャーナル化、ブックカフェの進行状況、会員確保・退会防止の取組み、復興支援活動に対する募金、など。
一般社団法人への移行化のために本会 191 規程のうち主要 8 規程について改定しなければならない。改定の内容は、「次年度より理事会は年 9 回行われる。支部長は支部長理事になる。担当理事会は廃止される。理事会の代理出席は原則として認められない。理事候補者は選挙で選ばれても理事会を経て決定される。九州支部の常議員は 10 名になる見通し」など。
- (3) 第 2 回支部長会議報告 (藤本支部長) 資料-3, 回覧-3
九州支部の「特色ある支部活動企画」案は不採択だった。
一般社団法人化に伴う支部規程の変更案が示された。基本的に決定権は本部に移行する見込み。支部規程の最終的な案をメールで送付するので、意見があれば 11 月末までに支部長へ。

2. 支部関係報告

- (1) 7 月・8 月・9 月・10 月の支部事業報告について (福田総務幹事) 資料-4
資料に沿って事業報告がなされた。
- (2) 7 月・8 月・9 月・10 月の支部会計報告について (高須会計幹事) 資料-5
資料に沿って会計報告がなされた。
- (3) 「作品選集 2012」九州支部審査結果について (蜷川・岡田学術幹事) 資料-6
・支部応募件数 17 件，支部推薦 9 件，本会入選 9 件 :11/10/31 メール報告済み
資料に沿って報告がなされた。九州支部からの推薦作品は全て本会入選。
- (4) 支部共通事業設計競技について (蜷川学術幹事)
 - 1) 2011 年度「時を編む建築」本会審査結果 :11/10/31 メール報告済み 資料-7
支部入選 25 点中 最優秀賞：1 件 (九州大学)，優秀賞：1 件 (九州大学)，タジマ奨励賞：3 件 (熊本大学，九州大学，鹿児島大学)
結果についてはメールにて報告済み。
 - 2) 2012 年度設計競技課題アンケートならびに開催日程 (案) :11/10/31 メール報告済み 資料-8

- 内容についてはメールにて報告済み。
- (5) 2012 年度大会研究集会のテーマ立案依頼 (福田学術幹事) 資料-9
 ・支部締切：2011 年 9 月 27 日，本会締切：2011 年 9 月 30 日
 ・提案なし：11/10/31 メール報告済み
 提案はなしとの報告がなされた。
- (6) 2011 年度日本建築学会九州支部研究発表会募集要項・発表要項等 (蛭川学術幹事) 資料-10
 ・募集要項は会告掲載依頼済み。HP 公開(10/7)済み
 内容については既に HP で公開済み。ただし発表機材について修正が決定 (→参照：審議事項 10)
- (7) 建築九州賞「作品賞」について (蛭川学術幹事，志賀作品賞運営協議会幹事) 資料-11
 現在審査中である旨、報告があった。
- (8) 第 2 回 2011 年度支部費等の交付金送金のお知らせ (高須会計幹事) 資料-12
 ・合計 1,530,250 円
 第 2 回の支部費交付金が送付されたとの報告があった。
- (9) 2011 年度支部会計上半期の予算執行状況について (高須会計幹事) 資料-13
 資料に沿って説明がなされた。収入については受託事業・経営助成費収入が当初予算より若干上回っている状況。支出についてはほぼ当初の予定通りだが、展示会事業費支出の支出額の内訳については再度調査することとした。
- (10) 2012 年度特色ある支部活動企画案の提出及び審査報告について (穴井担当常議員) 資料-14
 ・穴井先生から提案：「蒸暑地域の気候風土と社会条件に即した住宅づくりの方向性の提起」
 ・本会提出締切：2011 年 9 月末 (提出済み)：11/10/31 メール報告済み
 1. (3) 第 2 回支部長会議報告にもあるように九州支部からの提案は不採択となった。
- (11) 日本建築学会建築文化事業 (大谷常議員，福田総務幹事) 資料-15
 1) 「建築文化週間 2011」報告 (10/29)
 2) 「親と子の都市と建築講座」開催 (11/15)
 資料に沿って説明があり、無事に事業が終了したとの報告がなされた
- (12) 平成 24 年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) の案内 (福田総務幹事)
 ・支部締切：2011 年 10 月 19 日 (案内 9/8) 応募無し
 応募無しとの報告がなされた。
- (13) 2011 年度における叙勲・褒賞者の確認依頼について (福田総務幹事) 資料-16
 ・支部・本会締切：2011 年 11 月 11 日 (依頼 11/9)
 資料に沿って報告がなされた。
- (14) 会誌のコンパクト化について (蛭川学術幹事)：11/11/14 メール報告済み 資料-17
 内容についてはメールにて報告済み。
- (15) その他 (福田総務幹事)
 1) 寄贈図書 資料-18，回覧-4
 ・2011年東北地方太平洋沖地震災害調査速報 (日本建築学会)
 ・日本建築学会近畿支部研究報告集第50号 (構造系、環境系、計画系)
 ・鹿島技術研究所年報 VOL. 59
 ・2011 年東北地方太平洋沖地震災害写真集 (基礎地盤コンサルタンツ株)
 上記の図書が寄贈された旨、報告がなされた。
 2) 各種案内(講演会・展示会は，常議員・支所・各研究委員会にメール送信)
 3) その他 (福田総務幹事)
 ・司法支援建築会議について (藤本支部長) 資料-19
 中川氏からの問い合わせに対して回答を行い、本人から納得が得られたとの報告があった。
 ・福岡建築倶楽部新年の集い第 1 回準備会議のご案内 (山口総務幹事) 資料-20

案内が届いた旨、報告がなされた。

Ⅲ. 審議事項

1. 2012 年度九州支部通常総会の日程等について (福田総務幹事) 参考資料-1
 - ・ 日程 2012 年 5 月 25 日 (金) (会場予約済み)
 - ・ 2012 年度本会通常総会 : 2012 年 5 月 30 日 (水) 以前に開催する (2011 年度九州支部通常総会 : 2010 年 5 月 21 日 (土))
 - 和田会長の予定に合わせて上記の日程に決定。会場も既に予約済み。
2. 第 13 期代議員および 2012 年度支部役員 (常議員) 候補者について 資料-21
 - ・ 支部締切 : 2011 年 11 月 30 日, 本会締切 : 2011 年 12 月 10 日 (福田総務幹事)
 - 資料に沿って説明がなされた。代議員については 6 名の候補者を本部に推薦することとなった。尚、欠席の渡嘉敷常議員については本人に確認した上で推薦を行う。常議員については 6 名の候補者の届出があることを確認した。また選挙管理委員については、次年度の候補者の検討を行い、福岡近隣に在住する 2 年目代議員を中心に、本人の意向を確認した上で依頼することとした。
3. 2012 年日本建築学会大賞業績候補の推薦依頼について (福田総務幹事) 資料-22
 - ・ 支部締切 : 2011 年 10 月 19 日, 本会締切 : 2011 年 12 月 16 日
 - ・ 現在まで推薦 1 件 (構造委員会山川委員長より)
 - 構造委員会より推薦のあった松井先生を推薦することとした。
4. 2012 年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼について (福田総務幹事) 資料-23
 - ・ 支部締切 : 2011 年 10 月 19 日, 本会締切 : 2011 年 12 月 16 日
 - ・ 現在まで推薦無し
 - 資料に沿って説明があり、その通り了承された。
5. 2012 年日本建築学会教育候補業績の推薦依頼について (福田総務幹事) 資料-24
 - ・ 支部締切 : 2011 年 10 月 6 日, 本会締切 : 2011 年 10 月 14 日
 - ・ 推薦無し
 - 資料に沿って説明があり、その通り了承された。
6. 建築九州賞「業績賞」の推薦について (福田総務幹事)
 - ・ 支所及び研究委員会からの推薦締切 : 2011 年 10 月 19 日
 - ・ 推薦無し
 - 資料に沿って説明があり、その通り了承された。
7. 建築九州賞「功労賞」の推薦について (福田総務幹事)
 - ・ 支所及び研究委員会からの推薦締切 : 2011 年 10 月 19 日
 - ・ 推薦なし
 - 資料に沿って説明があり、その通り了承された。
8. 建築九州賞「研究新人賞」候補の選考・推薦依頼について (蛭川学術幹事) 資料-25
 - 2011 年度の募集案が示され、了承した。尚、次年度以降も継続すべきかどうか議論するため、各委員会委員長に対し研究新人賞の選考の現状についてヒアリングを行うこととした。
9. 支部長賞の推薦依頼について (福田総務幹事) 資料-26
 - ・ 規程及び推薦依頼校の確認 (新規候補 : 九工大, 九産大)
 - 資料に沿って説明があり、九工大と九産大の二校の追加が了承された。
10. 2011 年度日本建築学会九州支部研究発表会について
 - ・ 設計競技表彰式・講演会・懇親会・研究発表会について (岡田学術幹事) 資料-27
 - ・ 付随行事 1 月号会告 (11 月 30 日締切) (岡田学術幹事)
 - ・ 研究報告集の印刷・CD-ROM の見積もりについて (蛭川学術幹事) 資料-28
 - ・ プログラム編成作業の手順と日程 (蛭川学術幹事) 資料-29

- ・プログラム編成委員の推薦依頼（蜷川学術幹事）
- ・研究者集会について（岡田学術幹事）

日時：3月4日（日）12:50～13:20, 会場：西日本工業大学（小倉キャンパス）

資料に沿って説明があった。研究発表会で使用するパソコン機器のレンタル代が多額となるため、切替器を用いた発表へ変更することに決定。切替器は支部で購入することとし、機種を選定等については岡田学術幹事に依頼。発表要領については既にHPで公開しているため、変更後の発表要領が出来次第、HPやメール（各大学へ）等で速やかに通知することとする。また講演会の講師は三分一博志氏に決定。具体的な発表会場案が示されたが委員からの指摘があり、再度検討することとなった。また研究発表会・講演会・シンポジウムについては建築CPDの申請を行うこととした。

- ・収支計画について（蜷川学術幹事）

資料-30

資料に沿って収支の見通しについて説明があり、その通り了承された。

12月下旬のプログラム編成作業の手順を確認した。電子投稿に移行したことで時間的な余裕が1ヶ月ほど出来たとの事で、次年度は提出締切りが1ヶ月程度伸ばすことが可能との報告があった。

11. 2011年度国際交流事業について（武田常議員，福田総務幹事）

資料-31

資料に沿って2011年度事業について説明がなされた。また次年度以降については武田常議員に沖繩支所の意向を早急に確認してもらうこととした。

12. 2011年度日本建築学会支部研究補助費（20万円）の使途について（福田総務幹事）

研究の一環として九州建築作品賞への補助を行う事が了承された（但し補助は今年度まで）。

13. 2012年度日本建築学会九州支部研究発表会の開催地等について（福田総務幹事）

資料-32

- ・開催候補地：大分（次候補：佐賀），開催月：2013年3月

資料に沿って説明があった。議論の結果、今後は佐賀支所にも支部研開催のローテーションに入ってもらうが了承された。また、2013年度に佐賀での支部研開催を佐賀支所で検討することになった。

14. 2012年度支部共通事業設計競技の支部審査員・全国審査員について（蜷川学術幹事）

資料-33

- ・2年任期，赤川（北九大），田上（九大），徳永（株式会社環境設計研究所）の後任を決める必要あり。

※ 旅費について配慮した人員配置が望ましい

資料に沿って説明がなされ、支部審査員については田中（熊大）、岡田（西日本工大）、志賀（九大）、塩塚（塩塚アトリエ）、森（日本設計）の4名に、全国審査員については末廣（九大）にそれぞれ依頼することが了承された。

15. 2012年支部文化事業企画委員会の委員について（福田総務幹事）

資料-34

- ・担当：2012年 鹿児島支所（本間先生），2013年 熊本支所（河野先生），
2014年 長崎支所（村田先生）

資料に沿って説明があり、その通り了承された。

16. 2012年度事業計画案・予算案の策定方針について

資料-35

監査用の基本方針のみ作成する。（支部長・総務幹事・会計幹事）

資料に沿って基本方針の案が示され、その通り了承された。

17. 2012年度事業計画案について（山口総務幹事）

参考資料2

- ・本会締切：2011年12月末

事業計画の案が示され確認した。本会提出締切が12月末なので、12月の幹事会で最終確認を行う。

18. 2012年度予算編成に伴う支部費等交付金の照会について（内山会計幹事）

資料-36

変更無しで回答したとの報告があり、了承された。尚、活動実績が少ない支所に対しては今後、支部長が活動を活発化するよう促すこととした。

19. 2012年度予算案について（内山会計幹事）

資料-37

- ・2012年度九州支部研究委員会経費配分（案）について
- ・本会締切：2011年12月幹事会后

資料に基づいて予算案の説明がなされた。内容と表現について一部修正の指摘があったが、基本的な内容については同意が得られた。12月の幹事会で最終確認し、本会へ提出することが了承された。

20. 事務局員の次年度給与について（高須会計幹事）

別添資料

資料に沿って説明があり、今後は学会本部と同様の方式で人件費を算定すべきとの結論に達し、手当・賞与等について見直しの方向で検討することが了承された。会計幹事がたたき台の案を作成して12月の幹事会で議論し、1月の常議員会で再度報告をすることとした。

また事務局員の健康状態についても報告があり、事務局の移転を前向きに検討する事が了承された。

21. 受託研究の受託について（藤本支部長）

資料-38

(1) 研究題目：業務用ビルにおける省エネルギー化に向けた性能検証及び最適運用の確立に関する研究

- ・ 期 間：契約締結日より2012年3月10日まで
- ・ 委託費：1,312,500円（消費税を含む）
- ・ 委託者：㈱菱熱、㈱リョーテック
- ・ 受託者：日本建築学会九州支部 支部長 藤本一壽
- ・ 調査特別委員会委員長：赤司泰義（九州大学教授）

資料に沿って説明があり、了承された。

22. 支部規定と支部選挙細則の変更について（藤本支部長）

変更案が後日メールで送付されるので、意見があれば今月中に提出する。

23. その他

- ・ 会計監査の日程調整 日時：2012年4月24日 13:00～14:00（萩島先生 崎野先生 了承）
（福田総務幹事）

資料に沿って説明があり、了承された。

- ・ 建築雑誌スリム化について（藤本支部長）

資料-39

資料に沿って説明があり、了承された。

- ・ 建築九州賞英語表記について（志賀作品賞運営協議会幹事）

資料-40

表記の案について資料が示され、了承された。

- ・ 都城市民会館の維持管理について（福田総務幹事）

資料-41, 回覧-5

都城市から都城市民会館の維持管理について協力相談の連絡があったとのこと。直接コンタクトが取れていないので、支部として正式に対応し、必要な場合には歴史意匠委員会への引継ぎなども検討する。

- ・ 予算の支出についての問い合わせ

研究委員会の予算であれば委員長の承認が必要。場合によっては本部の支出ルールを参考に支部の支出ルールを策定する必要がある。尚、委託研究費であれば委託元の承認のみで支出可となり、支部の承認を得る必要は無し。その点をまず確認する。

V. 次回会議日程

1. 12月幹事会

日時：2011年12月19日（月）9:00～

2. 1月常議員会

日時：2012年1月27日（金）14:00～

※ 文化事業企画委員会：13:00～14:00

3. 2月幹事会

日時：2012年2月20日（月）14:00～

※場所：九州大学建築学科会議室